

4月定例教育委員会 会議録

- 1 開催日 平成25年4月10日(水)
- 2 開催場所 新館10階 大会議室
- 3 出席した委員 神吉委員長、吉田委員、桃田委員、森委員、石堂教育長
- 4 出席した職員 小田教育総務部長、松尾教育指導部長
大西教育総務部次長、諏訪教育指導部次長、
小林教育総務課長、小西教育総務課主幹、
三村教育総務課主幹、西田学務課長、
坂根社会教育・スポーツ振興課長、
日浦学校教育課長、森山青少年育成課長、
富原教育研究所長、
岩坂文化財調査研究センター所長、
田野少年自然の家所長、藤井中央図書館長、
中塚教育総務課副課長

6 傍聴者 なし

7 議事の要旨

○ 開 会 午後3時58分

○ 会議録署名委員指名のこと
神吉委員長、森委員に決定

○ 会議公開の可否決定のこと
全ての議事を公開することに決定

(報告事項) 別紙平成25年度教育委員会主要・新規事業一覧表に基づき報告

【教育総務部】

〈教育総務課〉

- ・ 資料に【補正予算(前倒し計上)分】と記載がある事業は、国の平成24年度予備費等を活用の上、繰越して実施するものです。

- ・ 小・中学校営繕事業として、トイレ改修工事を行います。実施校は氷丘南小、川西小、浜の宮小、中部中です。事業費は149,288,000円です。
- ・ 同じく、小・中学校営繕事業として、トイレ改修設計を行います。対象校は平岡小、別府小、両荘中です。また、幼稚園営繕事業において既存トイレの多目的化を進めます。対象園は川西幼稚園、平岡北幼稚園です。事業費はその他既存施設・設備の維持補修等を含め、119,306,000円です。
- ・ 小・中学校・幼稚園耐震化推進事業として、小学校6校6棟、中学校2校2棟、幼稚園5園7棟の計13校園15棟について、耐震補強工事を実施します。対象校は氷丘南小、平岡北小、川西小、平岡東小、西神吉小、浜の宮小、平岡中、中部中、平岡北幼稚園、加古川幼稚園、東神吉幼稚園、氷丘幼稚園、氷丘南幼稚園です。事業費は421,026,000円です。
- ・ 小学校下水道整備事業として、神野小、平荘小において、下水道接続工事を行います。事業費は54,772,000円です。
- ・ 幼稚園教育環境整備事業として、遊戯室へのエアコン設置工事を行います。対象園は平岡北、加古川、東神吉、氷丘、氷丘南の5園です。事業費は25,850,000円です。
- ・ 幼稚園教育環境整備事業として、エアコン設置工事の実設計画を行います。対象園は野口北、平岡、平岡東、平岡南の4園です。事業費は1,200,000円です。
- ・ 平成25年度実施主要事業にかかる事業費の総額は771,442,000円となります。
- ・ 平成25年度末での耐震化率は、小学校94.1%、中学校97.4%、幼稚園82.1%、全体で94%となります。

<学務課>

- ・ 学校給食調理業務事業として、給食調理業務委託について従前から実施している12校及び学校給食センターに加え、新たに野口南小学校において給食調理業務委託を始めます。事業費は昨年度より17,487,000円増額し、251,725,000円となります。
- ・ 平成25年度は、市内27調理場のうち12小学校と学校給食センター、及び養護学校の計14箇所にて学校給食調理業務委託を実施します。

【教育指導部】

- ・ 昨年大津市で発生しました、いじめ問題に対する対応につきましては、教育委員会全体で取り組んできたところです。
- ・ 平成25年度につきましては、いままで取り組んできた事業を体系化し、

最重要取り組み事項として、「いじめと心サポート事業」として立ち上げ、「未然防止」「早期発見・早期対応」「教職員の指導力向上」の3本柱で取り組んでまいります。

<学校教育課>

- ・ 新規事業「心の絆プロジェクト事業」について
- ・ 児童会、生徒会を中心にした心の絆を深める自主活動を行い、望ましい人間関係、居場所、集団作りを推進し、誰もが行きたくなる学校・学級づくりをめざします。事業費は、1,195,000円です。
- ・ 拡大事業「特別支援教育推進事業」「学習障害支援事業」について
- ・ 「特別支援教育推進事業」では、肢体不自由児の移動介助等を行う補助指導員を14名から16名へと2名増員して、継続的な支援につなげます。事業費としては、26,952,000円です。
- ・ 「学習障害支援事業」では、ADHD（注意欠陥多動性障害）等により、行動面が不安定な児童や特別な支援を必要とする児童等をサポートするスクールアシスタントを25名から28名と3名増員して、児童の特性や状況に応じたきめ細やかな指導を行います。事業費は、60,784,000円です。

<青少年育成課>

- ・ 新規事業「学校生活適応推進事業」について
- ・ 小中学校におけるいじめや不登校、問題行動等の学校不適応の未然防止や早期発見、早期対応を図ります。
- ・ 具体的な内容は、まず、「学校生活に関するアンケート」を実施し、子どもの学校生活における「生活面」「対人面」「学習面」に対する適応感をつかみ、問題の未然防止や早期発見、早期対応の充実を図ります。そして昨年度実施しました「いじめ相談シート調査」を継続的に行い、いじめの現状把握を行い問題の早期解決を図ります。
- ・ 経験豊富な退職校長を「いのちと心サポート相談員」として教育相談センターに配置をし、適切な助言と支援を行います。
- ・ 事業費は、5,026,000円です。

- ・ 「いのちと心サポート事業」としては、説明しました以外にも、教育研究事業・臨床心理士の増員・教職員の授業力を向上させる事業等を実施します。
- ・ 教育指導部としましては、「教育アクションプラン2013」に基づきまして、各課が事業を推進してまいります。

委員：幼稚園のトイレ改修について個人的には和式トイレも大切と思うが、現在の子どもの生活環境と現場の声を大切に、改修を進めてほしい。

委員：昨年に教育委員から市長、副市長へ要望を行った項目について、盛り込まれなかったことや、乖離している部分はないか。概ね満足していると考えてよいか。

事務局：多くの要望がある中で、優先順位をつけ実施できた。人員増等についてよく手当てをしてもらえていると考えている。

委員：耐震化は計画通りに進んでいる。平成27年度以降について、ハード面は当然のこととし、ソフト面の充実を図ってほしい。耐震化完了後の展望を見据え、人件費等の不足や充実を市長へ要望できるように、事務局から教育委員へ具体的な形で挙げてほしい。

- 3月臨時教育委員会会議録報告承認のこと
(事務局より会議録朗読報告)
承認

(専決報告)

- 1 加古川市立学校校区審議会委員の任命について
(教育総務部次長より説明)
承認

委員：加古川市の特色でもあるユニット12の推進において、神野、平岡の校区は、一つの小学校の中でユニットが分かれてしまうという弊害が生じてしまっている。2年前この課題について発言しているが、今年の校区審議会の開催状況や、審議記録等について教えてほしい。

事務局：昨年度は平成24年9月27日に開催され、校区設定や変更に関する答申はなく、校区外通学にかかる申請について報告した。

委員：校区外通学等の細かな話は通常の校区審議会として必要

なこと。それに加えて、もっと大枠の校区の整合性や、校区そのものについて検討することを事務局より会長へ進言するべきではないか。

委員： 神野地区、平岡地区のユニットにかかる課題については、昨年度全ユニットを訪問する中でも話題となった。確かに神野小は山手中と陵南中に、平岡小は平岡中と平岡南中に分かれてしまうという課題がある。

しかし、神野小を山手中校区に入れてしまうと、陵南中校区は野口北の1校のみとなってしまう。加古川市では、1中学校校区に2小学校以上という方針をとっている。別府西小学校を新設した理由のひとつも、別府中学校校区に別府小と別府西小の2小学校とすることだった。

現在教育委員会では、その他の課題も多く抱えていることから、ユニットを前面に出した校区割りについては、慎重に検討したいと考えている。

課題として認識はしているが、まだ具体的な議論に至っていないところである。

委員： よく分かった。神野地区の保護者には、私と同じような思いをもった人がいると思う。しかし、先ほどの教育長の話はよく理解できる。ついでには、そのような方向で対象地区へPRすることも必要ではないか。また、もう一つ言えば、校区審議会に関する計画やユニットの再編等についても検討し、明確にしていってもよいのではないか。事務局にて検討してほしい。

委員： 地区別懇談会等で校区について話題は出ていないか。

委員： 陵北、神野で通学路の安全確保の話の中で触れられたことはあったが、主要な話題ではなかった。

委員： 引き続き、慎重に審議をお願いします。

2 学校医の委嘱について

(教育総務部次長より 説明)

承認

3 加古川市社会教育委員の解職及び委嘱について

(教育指導部次長より 説明)

承認

委員： 婦人会の委員や組織の現状について把握しているか。婦人会の組織が硬直化してしまっているのではないかという心配がある。

委員： 市の機構改革により、男女共同参画の方へ事務局が移管されているため、詳細は把握できていない。

委員： 了承した。組織は立ち上げが最も大変である。継続はまだ簡単だが、活性化させながら継続していくことを大切にしてほしい。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

5月9日(木)午後2時から 開催することに決定

○ 教育委員諸報告

[神吉委員長より]

(1) 時報について

教育委員へ配付しているもので、加古川市は教育委員全員に配付されている。この中で、「知っておきたい教育法規」という特集があり、体罰・対生徒暴力への記載がある。一読願いたい。

[教育長より]

(1) 平成25年第2回加古川市議会(定例会)日程について

6月11日から19日に開催される。一般質問は6月11日の午後から12日、常任委員会は6月13日に行われる予定である。

(2) 庁議における市長からの方針について

先日の庁議において、市長から平成25年度の方針が示された。

教育委員会に関係することが2点挙げられる。

1点目は昨年の職員の不祥事を受けて、信頼の回復に努めること。特に意思決定プロセスの明確化と透明性を確保することが指示されている。

2点目は職員数の減少について。平成25年度においても1700名体制を維持できず職員数は1660名ほどになってしまっている状況をうけて、市として非正規職員の雇用形態を制度化する検討を行っていく。教育委員会において

も、調理員、用務員、幼児教育士等の非正規職員も増加し、幼児教育士については、半数が非正規職員となっており、市長部局に併せて対応していきたいと考えている。

(3) 教育委員会事務局会議について

市長からの方針を踏まえ、4月上旬に教育委員会事務局会議を開催した。以下の6点を今年度の重要検討事項としている。

- 1点目は中学校給食の実施について。
 - 2点目は就学前教育に関する組織の再編について。
 - 3点目は公民館の改修計画について。
 - 4点目は学校施設の耐震化後の計画について。
 - 5点目は加古川養護学校の市外受入制限について。
 - 6点目は「いのちと心サポート事業」の推進について。
- 追記事項として、加古川図書館の今後について。

(4) 市内中学校について

市内中学校の校長が療養中であり、教頭が校長の代行をしながら、スムーズな学校運営を行っている状況である。教育委員会として引き続き応援体制をとっていく。

○ 教育総務部長報告

(1) 小学校及び中学校における結核対策について

「加古川地区公立学校結核対策委員会」を廃止し、平成25年4月1日から「加古川地区公立学校結核対策アドバイザー」を設置した。
結核対策については、2市2町でマニュアルを作成し、アドバイザーについては、結核対策委員会の委員が引き続き就任する。

(2) 平成24年度不審者情報の発信状況について

平成24年度に、不審者・変質者等の情報を学校園に対し合計53件発信した。

以上、2件について報告

○ 教育指導部長報告

(1) 兵庫県教育委員会発行の「平成25年度指導の重点」について

「平成25年度指導の重点」については、加古川市教育アクションプランと同様、県の教育方針を示した重要なものであり、全ての県費負担教職員へ配布される。「ひょうごの教育」については、「指導の重点」をコ

ンパクトに説明した資料である。

委員： 県の「指導の重点」と市の「教育アクションプラン」の関係性について、県に盛り込まれているものは市にも盛り込まれていると考えてよいか。

事務局： 盛り込まれている。

(2) 青少年育成課（教育相談センター、少年愛護センター）における相談の状況について

教育相談センターにおける相談件数については、不登校が最も多い。近年は発達・情緒に関する相談も増えてきている。少年愛護センターにおいては、残念ながら反社会的問題行動に関する相談件数が昨年度より増加してしまっている。

相談件数について、昨年度より増加しているが、いじめや体罰に関する相談や問い合わせが増えたためである。相談件数の増加については、相談員の追加配置を行い、相談体制の充実を図っている。

(3) 平成 24 年度教職員の研修の実績報告について

平成 24 年度は年間 52 回研修を開催し、延べ 2910 人の受講があった。研修後のアンケートでは、受講者の 97%が役に立ったと回答していることから一定の成果を得たと考えている。

一方、校務多忙や旅費の節約、スケジュールの伝達不足等が原因となり、受講者数 3300 人という目標は達成できなかった。

これを受けて、平成 25 年度当初に研修講座案内の冊子を配布し、年間の研修スケジュールの周知を行うこととした。

以上、3 件について報告

○ 閉 会 午後 5 時 13 分